

# 市史編さんだより

## 第6号 2002.5.21

### ～収集資料から～ メートル法が施行されたとき

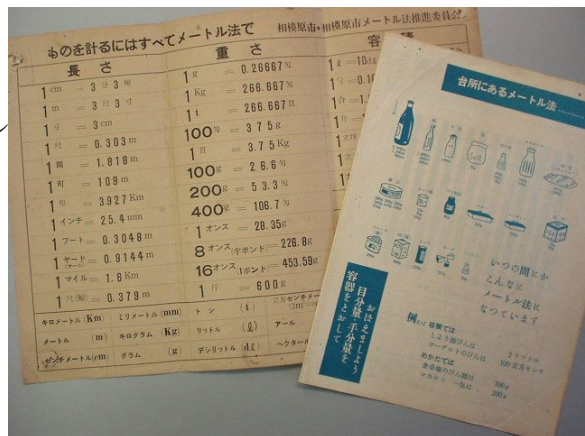
昨年寄贈を受けた上溝の今井テル氏所蔵資料の整理については、今年の夏までにカード化が完了するよう現在整理作業を進めています。今号ではそれらの中から目に付いたものをご紹介します。

昭和34年1月1日、今から40年以上も前のことになりますが、日本国中でモノの長さや面積を表す単位が変更されました。「メートル法」の実施です。それまでは「尺」や「匁（もんめ）」を単位とする「尺貫法」のほか「ヤードポンド法」などが用いられていましたが、昭和26年の計量法成立後約8年の準備期間が設けられ、この年「メートル法」の完全実施に至りました。

資料は2点あり、ひとつめは二つ折のリーフレット（写真右側）で、メートル法の歴史や使用される単位の呼び名などが書かれています。「国民全体の力でメートル法統一をやり遂げましょう。」と、メートル法完全実施への意気込みが伝わってきます。また「目分量・手分量をおぼえましょう」の欄では、しょう油びん（今ではあまり見かけませんが）は2リットル、マカロニー包200gなど、身近な食卓から新しい単位に慣れていくよう工夫して書かれています。

ふたつめは「ものを計るにはすべてメートル法で」というポスターで、1cmが3分3厘、一坪が3.306平方mなど、単位の換算表になっています。各家庭で壁などに掲示したようで画鋲の跡も残っています。

この「メートル法」実施について、当時の市の広報紙である「市報相模原」には、昭和32年3月15日にメートル法切り替えの「モデル店」制度を実施したこと（同年5月15日発行・第94号）、昭和34年2月分から「おこめの配給がキロ単位」となったこと（同年2月25日発行・第102号）などの記事が見られます。



## 特別顧問就任のごあいさつ

神 崎 彰 利

昭和39年、相模原市史の編さんが始まりました。これは神奈川県内で最も早期な自治体史の編さん事業であり、当時としては横浜市史と鎌倉市史の編さんが行われていた程度でした。この頃私は30代前半でしたが、市内居住で、たまたま近世史あるいは古文書（こもんじょ）を専門にしていたことから、編さん責任者の座間美都治氏等から呼ばれ、編さん委員に参加しました。

昭和47年、市史全7巻の刊行が終わり、全国的な立場からも好評を得て、私自体もその後他地域の地誌編さんを依頼されたとき「相模原市史のように」と言われましたが、これは相模原市史が当時の市史モデルになっていたことの証明と言えるでしょう。しかし多くの問題を積み残しましたが、とりわけ近・現代史を現時点から真正面に取り組み、日本の歴史発展の中での相模原が大きな課題となりました。この対応としての市史続編刊行のため平成13年4月に市史編さん室が発足し、前回の市史編さん委員の生き残りとして本年4月、編さん室の特別顧問に就任しました。私は神奈川県史をはじめ、いくつかの自治体史を手がけてきましたが、続編の刊行のため全力で当ります。よろしくご指導ください。

### 前市史編集室の写真から 4

今号では当麻地区の写真をご紹介します。この写真は昭和39年に撮影されたもので、中央の道路は主要地方道相模原町田線、下当麻の交差点から昭和橋の間の風景です。現在では頻繁に自動車が行き交う場所ですが、当時の交通量の少なさには驚かされます。また、この当時は歩道も設置されていないことがわかります。

さて、道の両側には農家の自宅前に「梨」の販売所が出ています。現在でも初秋を迎えると梨が売られていますので立ち寄った方も多いのではないでしょうか。右下の看板にもある通り、梨はこの地区の「名産」として以前から親しまれていたようです。



## 市史編さん室の新しいスタッフです。

4月から、常勤職員が2名増員されるとともに、非常勤特別職・市史編さん調査員が3名配属されました。どうぞよろしく申し上げます。

主 査 小原 隆 (おばら・たかし)

都市交通計画課から異動してきた小原です。これまで経験してきた職場と違った、とても静かな環境に戸惑っていますが、みんなで明るく楽しい職場にして、いい市史を作っていきたいと思います。

主 任 方波見 淳 (かたばみ・じゅん)

戸籍住民課から異動してきました。「見える」市史編さん作業を目指すべく、ホームページや市の広報紙で積極的なPRをしていく予定です。この「市史編さんだより」の編集も担当します。ご覧になっての感想をお待ちしています。

主 事・学芸員 河本 雅人(かわもと・まさと)

文化財保護室から異動してきました。現市史完結から30年ぶりの「続編」編さんにたずさわることとなりました。市民に愛読される市史作りを目指してがんばりたいと思います。

非常勤特別職・市史編さん調査員 下島 康史(しもじま・やすし)

市史編さんのプロジェクトに参加させていただけることを大変幸せに思っております。市民の視点に立った市史づくりに全力で取り組みます。よろしくお願ひ申し上げます。

非常勤特別職・市史編さん調査員 小田原 濤(おだわら・みお)

4月から調査員として引き続き市史編さんに関わる機会に恵まれました。これまで以上に懸命に相模原市のことを勉強し、親しみやすい市史刊行をめざしてがんばります。これからもよろしく申し上げます。

非常勤特別職・市史編さん調査員 五味 ゆかり(ごみ・ゆかり)

相模原61万余市民の皆様の貴重な資料に触れ毎日感動を覚えるとともに、身の引き締まる思いがいたします。皆様のご期待に沿えるべく誠心誠意精進してまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



## 編さん室の動き (3月～4月)

月	日	内 容
3	7	『市史編さんだより』第5号発行
	8	福島県会津若松市市史編さんグループ視察 (井上副主幹)
	26	熊本県一の宮町町史編さん室視察 (田所主幹)
	30	朝日新聞神奈川版に「市史編さん戦後に重点」の記事が掲載される
4	1	辞令交付式
	2	市史編さん調査員委嘱状交付式
	3	市史編さん室特別顧問委嘱状交付式 (本庁・市長室)
	11	博物館と資料の整理作業について考古編関連打合せ (河本学芸員)
	17	職員会議及び神崎特別顧問講話「地誌編さんをかえりみて」
	24	同 上

- 育児休業中の増島主任に代わり、鈴木臨時主事補が配属されました。  
前任の吉岡臨時主事補から引き継いで、勤務させていただくことになりました。時間を巻き戻して、相模原と再会する毎日ですが、その中で少しでも市史編さんのお役に立てるよう、がんばりたいと思います。
- 浜田学芸員が3月をもって退職しました。

<おしらせ> 4月から「相模原市史第1巻～7巻」の販売場所を、博物館管理事務室から市史編さん室事務室に変更いたしました。ご利用ください。なお日曜日と月曜日及び祝日はお休みとなります。

### 「さがみはら市史編さんだより」第6号

発行 平成14年5月21日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-15 市立博物館内

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8061